

プロジェクトマネージャ 解答例

【午後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (27 点:(1)7 点, (2)8 点, (3)7 点, (4)5 点)

- (1) 開発の成果を確認しながら修正していく進め方に適しているから
- (2) メンバーが自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態
- (3) メンバーがいずれも担当分野での経験やノウハウが豊富な状況
- (4) メンバーが自発的にチャレンジできるようにするため

設問 2 (16 点:(1)8 点, (2)8 点)

- (1) 提供する具体的な体験価値をメンバー全員で共有し価値の共創力を高める。
- (2) 早期の収益を意識せず, 失敗から学びながら成長して目標達成できる環境

設問 3 (7 点)

全員で知見や体験を共有し, 新たな体験価値を迅速に創出する。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

要件や契約条件変更の活動の負荷で, 顧客価値の変化に注力できなくなる。

設問 2 (8 点)

顧客との契約において, S 社が納期までに完成責任を果たすのが困難な状況

設問 3 (5 点)

S 社は A 社と対等な共創関係になりたい。

設問 4 (29 点:(1)7 点, (2)5 点, (3)3 点×4, (4)5 点)

- (1) 発注者の優越的立場が受託者に悪影響を及ぼさないようにすること
- (2) リスクの顕在化の予兆を早期に検知する効果
- (3) a : OODA
b : 回復力
c : 成果完成
d : インセンティブ・フィー
- (4) モチベーションを高め, チームの士気を高める効果

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (8 点)

ベテラン技術者の抵抗を抑えて知見やノウハウについて協力を得ること

この解答例の著作権は TAC(株) のものであり、無断転載・転用を禁じます。

設問 2 (26 点:(1)5 点, (2)7 点, (3)7 点×2)

- (1) 全員にプロジェクトへの理解と参加意欲を持たせること
- (2) 予兆検知システムの開発に, Y 社のアルゴリズムを適用する。
- (3) (ベテラン技術者) 経験から得た予兆を検知する知見や交換・修理のノウハウの提供
(中堅技術者) 早い段階でのシステムの仕様の理解と点検業務の担当

設問 3 (16 点:(1)4 点×2, (2)8 点)

- (1) (要件定義フェーズ) スコープが不明確で作業量を見積もれない。
(開発フェーズ) スコープが明確で作業量の見積りが可能
- (2) プラントの特性を把握した交換・修理のノウハウを継承可能にすること

以上